

Report
camera



ぐるり庄原 カメラ レポート



台風被害を伝える写真が総務大臣賞に

旧高野町広報紙が受賞

旧高野町の昨年の「広報たかの」12月号が、日本広報協会主催の全国広報コンクールの写真の部において、最優秀賞にあたる総務大臣賞を受賞しました。



地元やボランティアの活動を紹介

受賞したのは12月号の表紙の写真で、10月に上陸した台風23号により落果した大量のりんごと、それを拾う県立広島大学のボランティアの学生を撮影したもの。記事の中では、台風によりおよそ130万個のりんごが落果し、住宅被害なども併せると約2億7,000万円という大きな被害をもたらしたことを伝えました。



受賞した写真が表紙となっている12月号



花と元気のプレゼント

高地区で一人暮らしのお年寄りなどに花を贈呈



心を込めて花を植え付けました

5月20日(金)、高地区の明るい地域づくり推進協議会が中心になって、地域の一人暮らしのお年寄りや事業所などへベゴニアの花が贈られました。

この活動は、地域のお年寄りに元気を出してもらうと10年以上前から行われており、当日は50人あまりが参加。配られた花は、菊友会の皆さんが育ててこられたもので、高小学校、高南小学校の児童がプランターに植付ける作業を手伝い、参加者が各家庭や事業所へ配りました。

また、当日は高駐在所の森保芳樹さんも同行し、多発する「振り込め詐欺」防止のためのステッカーなどをいっしょに配りながら、防犯を呼びかけました。



「花を育てながら、元気に過ごしてくださいね」



登下校の安全を守るマスコット

高野町商工会女性部が新1年生にプレゼント



マスコットを付けて元気に学校へ通ってね

高野町商工会女性部が4月26日(火)、高野小学校を訪問し、新1年生19人に交通安全マスコットをプレゼントしました。このマスコットは、部員一人ひとりが子どもたちの交通安全を祈りながら、赤い布に綿をつめてサル



の交通安全を祈りながら、赤い布に綿をつめてサルの形にした手作りのマスコット。昭和53年から毎年小学1年生にプレゼントしています。「サルは昔から危険がサルと言って縁起のいい動物。これをランドセルにつけて、6年間無事で元気に通学してください」と話しかけ、子どもたち一人ひとりのランドセルにマスコットを付けました。

また、今回は多くの子どもたちがスクールバスを利用しているため、スクールバス4台にもマスコットを取り付けました。

元気いっぱいの新1年生



災害に備え「炊き出し」の訓練

比和女性防火クラブが実施



およそ300食分が調理できる「大釜」で豚汁づくり

5月29日(日)、比和ふれあいセンターで比和女性防火クラブによる災害を想定した炊き出し訓練が行われ、女性防火クラブと地元住民の皆さんや消防団員などあわせて40人あまりが参加しました。



慣れた手つきで料理を盛り付ける皆さん

訓練では、大釜などを使って100食分のおにぎりや豚汁がつくれ、終了後には地元の皆さんに振舞われました。

訓練に参加した比和女性防火クラブ会長の実延由香さんは、「大釜を使っての訓練も今年で4年目となり、ご飯も手際よく炊けるようになりました。いつ災害が発生しても慌てず対応できるよう今後も活動していきたい」と話され、防災について理解と意識を高める一日となりました。



交通ルールとマナーを学ぶ

総領中学校交通安全教室

5月13日(金)、総領中学校で交通安全教室がおこなわれました。

講習では、自転車も車輦であり重大な事故につながる可能性があるなどの説明があり、グラウンドでは車輦の点検やコースを走行して技術を学びました。そのほか、今年は初めて校外で、先生や警察官の指導により、実際の道路で通行や交差点の横断など交通ルールとマナーを学びました。



指導員の指示に従って、安全を確かめながら横断歩道を渡りました。

教室の後、生徒たちからは「警察官の熱心な指導に熱意を感じた」、「点検やヘルメットをかぶることも大事だ」など素直な反応があり、また、「近々横断歩道に自転車横断帯ができるので自転車に乗って横断できます」と喜び姿も見られました。



新緑の比婆山を駆ける

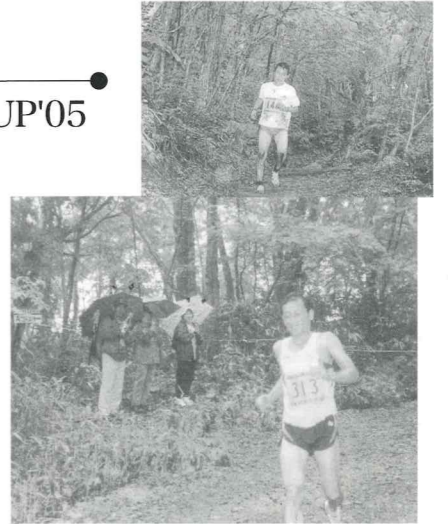
第16回比婆山国際スカイラン SEKISUI CUP'05

鮮やかな緑に包まれた「比婆山連峰」を舞台に、5月22日(日)第16回比婆山国際スカイラン SEKISUI CUP'05が開催されました。

メイン会場となった「県民の森」には、早朝から、選手600名余、サポーター・スタッフなどを含めて総勢1,000人以上が集まり、10時のスタートを合図に、それぞれのコースに飛び出していきました。

当日はあいにくの雨模様で、コース全体が滑りやすく、尾根や林間コースでは、多くの選手が泥んこになりながら、過酷なコースにチャレンジしました。

この大会が終わると、比婆山をはじめ近隣の山々は、いよいよ夏山登山やハイキングのシーズンとなります。

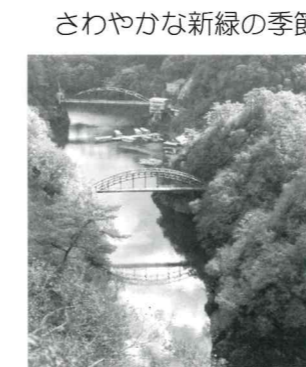


悪天候の中、懸命に走る選手



美しい自然との調和で親しまれるダムに

神龍湖がダム湖百選に選定



美しい自然に囲まれる神龍湖

さわやかな新緑の季節を迎え、美しい表情を見せている東城町の神龍湖が、このほど日本の「ダム湖百選」に選定されました。この「ダム湖百選」は、地域に親しまれ、かけがえのないダム湖を選定、顕彰することにより、より一層地域に親しまれ、地域の活性化に役立つことを願ったものです。

選定はダム湖百選選定委員会により、景観・歴史的価値・自然とのふれあいや生態系への配慮などを総合的に審査。大正13年に水力発電のために建設された神龍湖のダムは、四季折々の豊かな表情をみせる渓谷美などが評価されての選定となりました。

さまざまな自然の美しさを見ることができると神龍湖にぜひお出かけください。



毎年4月29日に開催される「湖水開き」



新たな観光スポットが誕生



モーモー物産館(口和町大月)

モーモー物産館のそば処「しんぎょう庵」は、口和町大月と三次市境のしんぎょう峠から名付けられました。メニューは本格手打ち二八そばのほか、特産物のモーモーあいす、手作りクッキーなど盛だくさん。

また、毎週水、土、日曜日には新鮮野菜市場も開設され、季節野菜のほか、特産品や山の幸がところ狭しと並びます。

築100年以上の民家を解体し、古材の柱を利用したモーモー物産館は必見です!

モーモー物産館/営業時間:10時30分~18時(定休日:月、木曜日)

☎0824-87-2244

口和新鮮野菜市/営業時間:8時~18時

地下500mから汲み上げるラドン成分基準をはるかに越える冷泉を源に、リニューアルした風呂に取り込み、かけ流しで皆さんに楽しんでもらっています。効能は神経痛・関節痛・特に高血圧症に効果があります。入浴料は1日500円で何回入ってもOKです。体が温まったあとには、自慢の比婆牛の焼肉を食べながら疲れを癒してください。



鮎の里公園・高瀬の湯(口和町永田宇出雲石)

鮎の里公園/営業時間:10時~21時(定休日:毎月第3火曜日)

☎0824-89-2244